

利用される方へ

1. 対象としている期間は、平成12年（平成12年1月1日～平成12年12月31日）です。
2. 各種計数については千円単位の計数に基づき算出し、表章単位未満を四捨五入しているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
3. 部門分類が平成7年表から変更されているため、平成12年表の部門分類に組替集計しましたが、なお、概念・定義が異なるため、単純には比較できない場合があります。
{平成12年表における主な変更点}
 - ・「再生資源回収・加工処理」部門の新設
平成7年表まで「屑・副産物」は「マイナス投入方式」により生産額を計上せずに取り扱ってきたが、「再生資源回収・加工処理」部門を新設し、屑・副産物に回収・加工経費を加えた生産額を計上しています。
 - ・社会資本にかかる資本減耗の計上
93SNAへの対応に伴い平成12年表では道路・ダム等の社会資本に対しても資本減耗の計算を行い、公務等の生産額に計上し、一般政府消費支出に産出しています。
4. 「県経済の機能分析」は、 $[I - (I - \hat{M})A]^{-1}$ 型（生産波及効果の一部が県外に流出することを想定した開放経済型）の逆行列係数表を用いて分析しています。
5. 符号について
 - ・ 該当数値のないもの、または無意味なものは、「-」で表示しています。
 - ・ 負数は、「 $-$ 」または「 $-$ 」（マイナス）で表示しています。
6. 各統計表に収録している諸表は以下のとおりです。
 - 生産者価格評価表
 - 投入係数表
 - 逆行列係数表 $[I - (I - \hat{M})A]^{-1}$
 - 最終需要項目別生産誘発額等諸表（額・係数・依存度）
 - 最終需要項目別粗付加価値誘発額等諸表（額・係数・依存度）
 - 最終需要項目別輸入誘発額等諸表（額・係数・依存度）
 - 輸移入係数・輸移入品投入係数・総合輸移入係数及び総合付加価値係数
 - 雇用表
（104部門表は～を除く）